

事務事業名		高齢者等タクシー利用料金助成事業		所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
総合計画体系	政策名	(Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	高齢者福祉G	課長名	糸原 幸子
	施策名	(22) 高齢者福祉の充実		担当者名	武田 遼太	電話番号	0854-40-1042
	目的: 対象	65歳以上の市民	意図	生きがいを持って、いきいきと暮らす。	(内線)	2152	
	基本事業名	(065) 地域ケア体制の充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	在宅福祉事業	
目的: 対象	65歳以上の市民	意図	住み慣れた地域で安心して暮らす。	0 1 1 5 0 4	項目 中事業 中事業名	高齢者等タクシー利用料金助成事業	
				0 5 3 0 1 4	項目 成事業 成事業名		

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (24年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
自動車の運転ができない高齢者等の外出時の移動支援のため、タクシーにも利用できる「市民バス優待回数券」の制度を24年度に創設、2年間の検証の後、H26年4月より、一部改正し本格実施。対象者：65歳以上高齢者、障がい者、難病患者、戦傷病者手帳保持者（H26年度より運転免許自主返納者にかかる無料交付については、総務部総務課へ移管）

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・市内タクシー事業者への回数券使用分支払 ・実績管理 ・制度改正	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 平成29年度より、「高齢者等バス・タクシー利用料金助成事業」に移行して実施する。 (下記計画数値は、新事業の計画値)				
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 優待回数券年間販売額	千円	6,751	9,231	7,772	7,500
	イ タクシー利用分支払額	千円	7,422	14,091	18,131	15,000
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	65歳以上高齢者、身体・知的・精神障がい者、難病患者、戦傷病者手帳保持者	ア 65歳以上高齢者数	人	14,460	14,572	14,710	14,850
		イ 65歳以上高齢者のみ世帯の人数	人	3,888	4,081	3,993	3,993
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
タクシーを利用しやすくすることにより、公共交通機関の利用が困難な高齢者等も外出時の移動がしやすくなる。	ア 自主返納による無料交付件数	件	96	106	110	100	
	イ 市内の公共交通サービス機関に満足している市民の割合	%	42.2	45.0	45.0	56.0	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)		② コストの推移		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
扶助費	18,131千円	事業費	国庫支出金	千円				
印刷製本費	641千円		県支出金	千円				
消耗品費	21千円		地方債	千円				
			その他	千円	3,747	7,384	6,217	7,500
			一般財源	千円	3,717	6,986	12,576	8,364
		事業費計(A)	千円	7,464	14,370	18,793	15,864	
		人件費	正規職員従事人数	人	8	8	10	
			延べ業務時間	時間	140	200	350	
		人件費計(B)	千円	544	783	1,388		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	8,008	15,153	20,181		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
高齢者のみ世帯が急増し、運転免許を持たない、バス等公共交通の利用が困難、などの理由により、通院や買物のための移動困難者が増えている。	市民バス再編計画を策定し、H24年度から段階的に実施していくが、それでも移動困難が解消されない住民もいると思われる。H26年度より、対象範囲の拡大及び、助成額の拡大・利用上限額の拡大を行った。H28年度に制度改正を行い、H29年度より対象者、券面額、利用上限金額等を見直した新しい制度として実施する。	独居高齢者世帯や低所得者に対する移動支援サービスが求められている。議会より、事業目的と反する利用があるのでとの指摘がある。(H29年度より新事業により対応)

事務事業名	高齢者等タクシー利用料金助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	------------------	-----	-------	-----	----------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由 真に移動手段の確保が困難な方のための支援制度とするため、普通自動車免許を持たない方を要件に加え、H29年度より新たな「高齢者等バス・タクシー利用料金助成事業」に移行した。
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 H29年度からの新事業移行により、普通自動車免許を持たない方を要件に加えたことで自主返納による無料交付件数の増加につながる。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
<input type="checkbox"/> 影響無	理由 少子・高齢・過疎化が進む中、移動手段を持たない高齢者等の移動支援は必要不可欠なものとなっている。		
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 高齢者を対象とした移動支援は他にない。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 H29年度からの新事業移行により、突出した利用を抑制し、券面額や利用上限金額等を見直した。その実績についてさらに検証していく必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 H29年度からの新事業移行により、2回目以降購入の場合の手続きを簡略化し、販売にかかる業務時間を削減した。また、200円券を500円券に変えることで実績の確認に要する事務量を削減した。	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 H29年度からの新事業移行により、年度内購入上限額を設けたことで、突出した利用を抑制した。	
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 高齢者のみならず障がいがある方々等幅広くご利用いただいている。H29年度からの制度改正で、対象者、券面額、利用上限額、販売上限額等を見直した。
	A 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下		×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上	●																			
	維持		×																		
	低下		×																		
<p>高齢者のみならず障がいがある方々等幅広くご利用いただいていた当該事業は廃止し、H29年度から新たな「高齢者等バス・タクシー利用料金助成事業」に移行、対象者、券面額、利用上限額、販売上限額等を見直した。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			